

人生100年時代! 医療と福祉の 架け橋

日時 2022年5月21日(土)
12:10 ~ 13:10

会場 かごしま県民交流センター
第2会場 2F大ホールA+B

人生100年時代といわれ、2050年には日本の100歳以上の人口は50万人を超えることが予測されています。生涯にわたりQOLの維持・向上のためロービジョン患者にとって眼科医療と眼科福祉の発展はさらに重要になってきます。

眼科医療においては、より良い医療の提供に向けて、診療技術の発展に加え、薬剤やデバイスなどの開発も進んでおり、日常診療に活かされています。一方で、眼科福祉においても、世間の意識が高まりつつある中、スマートサイトの普及や制度の整備、情報通信技術(ICT)の活用なども目覚ましく発展しています。

さらなる患者QOLの維持・向上、多様なニーズに応えるためには、これらの医療と福祉をしっかり繋ぐことが、ロービジョンケアにおいて重要となってきます。今回のセミナーでは植木先生と平塚先生をお招きし、医療と福祉を繋ぐロービジョンケアについてご講演いただきます。

本セミナーが人生100年時代のロービジョンケアについて、皆さんと一緒に考える機会となれば幸いです。

座長

坂本 泰二 先生
(鹿児島大学)



座長

松崎 英吾 氏
(特定非営利活動法人
日本ブラインドサッカー協会)



演者 1

人生100年時代の緑内障

植木 麻理 先生
(永田眼科)



演者 2

連携を通じた
ロービジョンケアへのアクセス

平塚 義宗 先生
(順天堂大学)



人生100年時代! 医療と福祉の 架け橋

第23回日本ロービジョン学会学術総会
ランチョンセミナー2

日時 2022年5月21日(土)
12:10 ~ 13:10

会場 かごしま県民交流センター
第2会場 2F大ホールA+B

座長

坂本 泰二 先生 (鹿児島大学)

1985年 九州大学 医学部 卒業
1992年 九州大学大学院 医学系研究科 修了
カリフォルニア大学ドヘニー眼研究所 客員研究員
2000年 九州厚生年金病院 眼科 部長
2001年 九州大学大学院 医学研究院 眼科 講師

2002年 鹿児島大学 医学部 眼科学教室 教授
2020年 鹿児島大学病院 病院長
鹿児島大学 副学長(附属病院担当)
現在に至る



松崎 英吾 氏 (特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 (JBFA))

2003年 国際基督教大学 卒業
株式会社ダイヤモンド 入社
2007年 日本視覚障害者サッカー協会
(現・日本ブラインドサッカー協会)
事務局長 就任
現在に至る

2007年 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 (JBFA) 事務局長
国際視覚障がい者スポーツ連盟 (IBSA) フットボール委員会委員
2013年
2015年 合同会社ソーシャルマネジメント共同代表
2017年 国際視覚障がい者スポーツ連盟 (IBSA) 理事
2018年 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 (JBFA) 専務理事
2019年 一般財団法人インターナショナル・ブラインドフットボール・
ファウンデーション代表理事



演者 1

人生100年時代の緑内障

植木 麻理 先生 (永田眼科)

1991年 大阪医科大学(現、大阪医科薬科大学) 卒業
大阪医科大学 眼科 入局
1999年 大阪医科大学 助手
2003年 大阪医科大学 講師
2005年 高槻赤十字病院 部長

2009年 大阪医科大学 講師
2018年 高槻赤十字病院 部長(大阪医科大学 眼科 非常勤講師)
2019年 永田眼科 勤務(大阪医科大学 眼科 非常勤講師)
2022年 日本ロービジョン学会 評議員
現在に至る



演者 2

連携を通じたロービジョンケアへのアクセス

平塚 義宗 先生 (順天堂大学)

1992年 山形大学 医学部 卒業
順天堂大学 医学部 眼科 入局
1995年 London大学 Institute of Ophthalmology
Community Eye Health 修了
2000年 Johns Hopkins(ジョンズ・ホプキンス)大学にて
公衆衛生学修士課程 修了
2003年 順天堂大学 医学部 眼科 講師
2007年 順天堂大学 東京江東高齢者医療センター 先任准教授

2009年 国立保健医療科学院 経営科学部 情報マネジメント室長
順天堂大学 眼科 客員准教授
2011年 国立保健医療科学院 医療福祉サービス研究部
首席主任研究官
2015年 順天堂大学 眼科 先任准教授
国立保健医療科学院 客員研究員
現在に至る

